環境行動計画の改定（案）　概要

追加資料

●計画改定の方針

環境行動計画は、吉川市環境保全指針の実現に向けて、目標値、指標を定め管理していくもので、令和３年度に第１期計画を策定し、令和８年度より第２期が開始となる。環境保全指針の目標年次が２０３０年であり保全指針自体に変更点がなく、目標値に向けて順調に進んでいることから軽微な見直しを主とした改定とします。

主な変更点として、既に達成している（達成が見込まれる）項目および達成が見込めない項目を中心に見直しを検討する。

また、現行の計画にある「チャレンジ」項目についてはこの５年間で調査研究、あるいは具体的にチャレンジしてきたため、今後の５年間につきましては、これらの項目を既存の項目に組み込み、施策として推進することを検討する。

（例）「ごみ分別アプリ導入の調査研究」→「ごみ分別アプリの利活用の推進」として
「チャレンジ」項目→「適正処理の推進」の項目へ。

●主な変更点（現時点の検討案）

①達成している項目または達成が見込まれる項目

変更前（R8 年度目標）		変更後（R12 年度目標）		備考
典型７公害相談件数	５０件	公害相談の処理率	１００％	相談自体が受け身であるためコントロールできない。
温室効果ガスの排出量	２７６１ t-co2	温室効果ガスの排出量	検討中	※エコオフィスの改定に合わせて更新
次世代自動車の使用割り割合	２０．０％	次世代自動車の使用割り割合	検討中	※財政課へ照会予定

②達成が難しい項目

変更前（R8 年度目標）		変更後（R12 年度目標）		備考
太陽光補助金交付件数	５０件	太陽光補助金執行率	１００％	予算により交付件数が決まっているため。
廃棄物減量等推進員の委嘱人数	４８３人	廃棄物減量等推進員の委嘱人数	検討中	自治会推薦が必要。できない人が増えている。※資源
集団資源回収補助団体数	７４団体	集団資源回収補助団体数	検討中	PTA 等が減少傾向であり、それに伴い減少※資源

③その他（主に数値以外）

（１）目標年次が２０３０年に更新されるため、それぞれの目標値を更新する。
（２）エネルギーの地産地消への挑戦→継続的な地産地消エネルギーの導入
（３）上記変更点以外に軽微な変更点として、「COOL CHOICE→デコ活」「クールビズ→セルフビズ」等の名称の変更やチャレンジする取組みの内容を調整する。
（４）その他、他課との調整が必要な項目については１２月中に庁内で会議を予定。